

## 第4分科会

# ■ 要旨まとめ: インターアクトクラブ委員会(地区内クラブ状況・更新方法)

黒丸 雄平(横手 RC)

## 1. 地区 2540 のインターアクトクラブ状況(2026/5/18 時点)

### ■ クラブ総数

- ・ 活動中: 5 クラブ
- ・ 停止: 0 クラブ
- ・ 終結: 8 クラブ

### ■ 活動中のクラブ(5 クラブ)

クラブ名	スポンサークラブ	加盟日	備考
Akita Reiwa Koto Gakko	Akita RC	1978/7/26	顧問: Motohiko Sano
Kakunodate High School	Kakunodate RC	1978/6/16	顧問: Yuria Sakaki
Kenritsu Heisei Koko	Yokote RC	1967/12/7	顧問: Yuhei Kuromaru
Nishisenboku Koutougakkou	Omagari RC	2022/11/7	顧問情報なし
Odate Kokusai Jyoho High School	大館・大館中央・大館 北・大館南 RC	2005/6/6	顧問: Hitoshi Nyuu(4 クラブ共通)

※大館国際情報高校は4つのスポンサークラブが存在し、同一IDで複数登録されている。

## 2. 終結したクラブ(8 クラブ)

- ・ Noshiro Shoyo(2022/6/30 終結)
- ・ Gojome High School(2024/4/17 終結)
- ・ Futatsui High School(2020/1/30 終結)
- ・ Honjo Higashi(1997/8/1 終結)
- ・ Kakunodate High School(旧ID: 2020/1/30 終結)
- ・ Nishime Koto Gakko(2020/1/30 終結)

## 第4分科会

- Seirei Koko(2007/2/1 終結)
- Yuri Koto Gakko(1989/3/31 終結)

## 3. インターアクトクラブ情報の確認方法

### ■ ロータリアンの場合

- ロータリークラブ・セントラル →「レポート」→「奉仕」から地区内インターアクトクラブ一覧を閲覧可能。

### ■ 地区ローターアクト代表の場合

- My ROTARY →「クラブと地区の運営」→「各種レポート」から閲覧可能。

## 4. クラブ情報の更新・維持に関する重要ルール

### ■ 毎年必須の更新

- 6月30日までに顧問(アドバイザー)情報を国際ロータリーへ報告すること
- 顧問は成人であれば、
  - ロータリアン
  - ローターアクター
  - 学校管理者・教員
  - 地域の成人ボランティア のいずれでも可。

「2年間更新がないインターアクトクラブは終結となります」

### ■ 顧問は複数可だが、RIへ報告するのは1名のみ。

## 5. クラブの状態変更に関する手続き

### ■ 一時停止(Suspended)→活動中(Active)への復帰

- 顧問情報を更新すれば復帰可能。

### ■ 終結クラブは復活不可

- 終結(Terminated)となったクラブは再開できない。

## 第4分科会

### ■ 新規認定が必要な場合

- 「インターアクトクラブ認定フォーム」を提出 → [interact@rotary.org](mailto:interact@rotary.org) または RI 日本事務局へ

### ■ スポンサークラブ変更

- 「スポンサークラブ変更フォーム」を提出

### ■ クラブ名・基盤(学校/地域)の変更

- RI 日本事務局へ連絡し、顧問・スポンサークラブ会長・地区リーダーを CC に追加

## 6. インターアクト顧問報告フォーム(概要)

- 毎年1名の顧問を報告する義務
- フォーム入力者は顧問本人の承諾が必要
- My ROTARY アカウントのメールアドレスと一致させること
- 入力後、反映まで約5日

## 総合まとめ(最重要ポイント)

1. 地区 2540 には現在 5 つのインターアクトクラブが活動中。
2. 顧問情報の年次更新がクラブ存続の最重要ポイント。
3. 終結クラブは復活できないため、早期の情報更新が必須。
4. クラブ情報の閲覧・更新はロータリークラブ・セントラル/My ROTARY で可能。
5. スポンサークラブ変更・クラブ名変更などは必ず RI へ正式手続きが必要。

## 第4分科会



### 要旨まとめ:ロータリーと危機管理(2540地区)

緑川 正樹(大館RC)

## 1. 危機管理の基本方針(2540地区)

### ■ 危機の定義

- ・ 「災害やハラスメント等のすべて」を危機とする (総則第2条・委員会規定第2条)

### ■ 危機発生時の義務

- ・ 速やかに危機管理委員会へ報告する義務 (総則第5条・委員会規定第5条)

### ■ 決定の遵守

- ・ 地区内クラブ・ロータリアンは 危機管理委員会の決定を必ず遵守する (総則第6条・委員会規定第9条)

## 2. 青少年保護と危機管理(ロータリー一章典 2.120.2)

青少年保護はロータリーの危機管理の中でも最重要領域。

### ■ 【ゼロ容認方針(Zero Tolerance)】

- ・ 虐待・ハラスメントは一切容認しない
- ・ いかなる違反も法規に基づき厳格に対処

### ■ 【72時間ルール】

- ・ 虐待・ハラスメントの申し立ては、報告受領から72時間以内にRIへ報告する義務
- ・ 72時間以内に報告しない場合: → 地区の青少年交換プログラム参加資格が停止される可能性

## 第4分科会

「72時間以内のRIへの事態報告を怠った場合、地区の青少年交換への参加資格が停止される場合がある」

### 3. 会員身分の終結に関する規定

#### ■ 被疑者の扱い

- 性的虐待・ハラスメントの申し立てがあった場合、問題解決まで青少年との接触は禁止

#### ■ 会員身分の終結が必要なケース

クラブは以下の場合、必ず会員身分を終結しなければならない：

1. 青少年との接触禁止命令後に接触した場合
2. 性的虐待・ハラスメントを
  - 自ら認めた
  - 有罪判決を受けた
  - 行為が明らかである いずれかに該当する場合

### 4. クラブの終結に関する規定

- クラブは、青少年保護方針に違反した人物を会員として認めてはならない
- もしクラブが違反者の会員身分を終結しなかった場合、RI理事会はクラブを終結させることができる

「クラブが…そのような個人の会員身分を終結しなかった場合、RI理事会は…クラブを終結する」

## 総合まとめ(最重要ポイント)

1. 危機管理の対象は「災害・ハラスメントなど全て」
2. 危機発生時は速やかに危機管理委員会へ報告する義務がある
3. 青少年保護は最優先で、ゼロ容認方針が適用される
4. 虐待・ハラスメントの申し立ては72時間以内にRIへ報告必須
5. 違反者は青少年との接触禁止、場合により会員身分の終結が義務
6. クラブが方針に従わない場合、クラブ自体が終結される可能性がある

## ■ 要旨まとめ：青少年交換プログラム委員会（2026-27年度）

八木橋 秀一（大館 RC）

### 1. 近年の交換留学生（長期）

#### ■ 22-23 年度

- ・ 青山 桐生（大館 RC／大館国際情報）

#### ■ 23-24 年度

- ・ 松田 光矢（湯沢 RC／湯沢）

#### ■ 25-26 年度

- ・ 進藤 雅姫（大曲 RC／秋田南）

#### ■ 26-27 年度

- ・ 鎌田 乃歌（秋田北 RC／聖霊）

### 2. 東北地区の主な交換先

- ・ アメリカ(USA)
- ・ メキシコ
- ・ 台湾
- ・ フランス
- ・ スイス
- ・ ※ オーストラリアは当分中止

### 3. 青少年交換の目的

- ・ 青少年に 国際的視野を広げてもらう ためのプログラム
- ・ 元々は「ロータリアンの子息を預け合う」ことから始まった
- ・ 現在は 一般学生も対象

## 第4分科会

# 4. 国際青少年交換は「3年事業」

### ■ 1年目: 派遣準備

- ・ 派遣候補生としてオリエンテーション参加
- ・ 自己研鑽・語学・心構えなどの準備

### ■ 2年目: 海外留学(約10か月)

- ・ 現地で学校生活・ホームステイ
- ・ 異文化体験と国際理解を深める

### ■ 3年目: ROTEXとして活動

- ・ 帰国後、後輩の支援やインバウンド学生のサポート
- ・ 経験を地域へ還元

### ■ 用語

- ・ ROTEX: 派遣留学経験者
- ・ OBS: 派遣学生 (Outbound Student)
- ・ IBS: 受入学生 (Inbound Student)

# 5. 年間スケジュール(長期交換)

- ・ 5~8月: 募集
- ・ 8月末: 締切
- ・ 9月下旬: 選考試験
- ・ 10月~翌6月: オリエンテーション(東北合同研修あり)
- ・ 8月: OBS 出発/IBS 来日
- ・ 9月: 新学期スタート
- ・ 1月: 蔵王スキー合宿
- ・ 3月: 東北合同研修(2028年は2540地区が担当)
- ・ 7月: 帰国・報告会

# 6. 青少年交換の課題(困難点)

### ■ ホストファミリー確保が大変

## 第4分科会

- 2~5家庭が必要
- 子どものいる家庭が理想

### ■ 委員会側の体制

- 英語ができる委員が数名必要
- RIJYEC/YESS2 という専用システムで運用
  - 学生とクラブが90%の入力を担当

### ■ 2026-27年度の重要事項

- 今年は委員会準備が整わないため、長期交換学生の募集は行わない

## 7. 青少年交換のメリット

- クラブイメージの向上
- 国際理解と親睦の推進
- 地域貢献
- 将来のロータリアン候補の育成
- 新世代の育成

## 8. YESS2(運用概要)

### ■ 主な入力内容(学生・クラブが担当)

- 基本情報(氏名・住所・保護者情報)
- マンスリーレポート
- ホストファミリー情報
- カウンセラーレポート
- 受入高校情報
- 緊急時対応(RIJYEC)



## 総合まとめ(最重要ポイント)

1. 青少年交換は3年間にわたる育成型プログラム
2. 国際理解・語学力・自立心を育てるロータリーの代表的青少年事業
3. ホストファミリー確保と委員会体制が最大の課題
4. 2026-27年度は長期交換の募集を見送り
5. ROTEX・OBS・IBSが連携し、地域と世界をつなぐ重要な役割を果たす